

鶺鴒の木地区地域情報紙

さんぽみち

第73号

発行：地域力推進鶺鴒の木地区委員会
編集：鶺鴒の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鶺鴒の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418

鶺鴒の木特別出張所管内の人口

(平成25年3月1日現在)

男	11,201人
女	12,038人
計	23,239人
世帯数	12,313世帯

鶺鴒の木地区には7つの町会があり、各町会会員の協力により地域の福祉増進、相互親睦を図り、社会文化の向上発展に寄与し、楽しい明るい、よりよいまちづくりに努めることを目的とした事業活動が行われています。

今回は、町会活動以外で鶺鴒の木地域の実情に精通した方々が各町会からの推薦により、東京都及び大田区から委託され、各官公署の任命により鶺鴒の木地域の奉仕活動で大きな役割を担った委員が、地域に根付いて活躍している活動団体の一部を、紹介致します。

鶺鴒の木地区町会連合会

会長 佐藤 大助
新年度を向かえ、明るいまちづくりのために、お骨折りをいただいて申し上げます。

引き続き、思いやりにみちたまちの実現に向け微力を尽くしてまいります。

地域の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



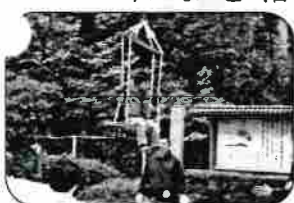
青少年対策委員会活動

鶺鴒の木地区青少年対策委員会会長 保莉一興

青少年対策委員会は、各町会、小・中学校、PTAなどの各団体から選出された委員と、青少年委員、スポーツ推進委員とで構成され、大田区十八出張所に地区委員会があります。行事は一年中、休む間もないほど多様性にわたり、未来を担う子供達の健全な成長を願い活動しています。

今、青少年を取り巻く環境も大きく変わり、情報があふれ、子供同士の結びつきが少なく、社会全体でも近隣の付き合いも希薄になっていきます。鶺鴒の木地区での青少年同士の交流の場をつくり、話し合い、体験活動の場を提供することで、友達づくりをし、心豊かな青少年が育つことを願っています。

青少年の活動が、次代を担う子供達が地域に溶け込み、地域愛を育てる手助けになればと思います、これからも活動していきたいと思っております。



消防団の活動

第三分団長 本橋 政昭

東日本大震災より早や二年、あの時自分があの場所に出会っていたら何をしたら？何が出来たのかを思われた方も多かったのではないのでしょうか。我々消防団も深く考えさせられた事でした。第三分団は鶺鴒の木出張所管内を受け持っています。残念乍ら定員を満たしておらず各町会から募っているところです。

災害に対する活動、災害の予防、防火防災の指導、又女性団員が活躍する最近では救急救命の指導も大切な活動となっています。今年になって深夜に大きな火災があり団員も出動しました。年末年始の夜警の後だけに非常に残念でした。いち早く情報を提供し行政に繋げる事が災害の減災にも役立つものと考え行動しています。皆様から信頼を得られる様に努力して参ります。是非、地元の防災リーダーとして入団して活躍できる方をお待ちしています。



第9回鶺鴒の木地区高齢者ふれあいフェスタが開催されました

いきいきはつらつ ふれあい広場



鶺鴒の木地区高齢者ふれあいフェスタ 実行委員長 篠田 香

3月6日(水)大田区民プラザにて第9回鶺鴒の木地区高齢者ふれあいフェスタが開催されました。

第1部ステージではソプラノ歌手上杉麻子さんのオペラや観客を巻き込んだ童謡・サンタルチア合唱と大いに盛り上がりました。多摩堤保育園児のキッズソーランからは若返りのエネルギーをたっぷりもらいました。

第2部のブースでは恒例のキヤノン・ユザワヤ・日本工学院・池上長寿園・社会福祉協議会の他、今回初めてのものである東京都ビューティーケア赤十字奉仕団によるネイルカラーが大好評でした。地元を流れる六郷用水を紹介するパネル展示も初の試みでした。

各元気塾の催しやお抹茶の接待はたくさんの方が楽しまれました。

東松島市の物産販売では少しは復興支援のお手伝いができたのではないだろうか。極寒の準備期間からは想像もできないような暖かな好天に恵まれ、789人もの来場者の笑顔に、実行委員一同も春の訪れを確信しました。

- ### 出張所だより
- #### 【優良消防団定例表彰】
- 優良消防団監督表彰
優良消防団員
柏倉 義美 (第三分団班長)
救命講習指導の普及活動功勞
金子 富美子
- (第三分団副分 団長)
- #### ◇大田区長表彰
- 優良消防団員
石田 ととき枝 (第三分団部長)
佐々木 友仁 (第三分団団員)
- #### ◇消防署長表彰
- 優良消防団員
藤川 晃司 (第三分団団員)
- #### ◇消防団長表彰
- 年間優良分団
第三分団
優良消防団員
深井 敏江 (第三分団団員)
北島 大 (第三分団団員)
- #### 【善意の募金】
- 赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金
2,088,550円
2,111,680円
- ご協力ありがとうございました。
- #### 【イベント】
- 第62回大田区 子どもガーデンパーティー
平成25年4月21日(日)
鶺鴒の木・田園調布・嶺町
会場 多摩川台公園
雨天時 東調布第一小学校体育館

【編集後記】

昨年末から、厳しい寒さが続いているうちに、あつという間に桜満開の季節となりました。

平成24年度、地域情報誌「さんぽみち」の編集委員会の活動報告について。

第69号(平成24年4月1日発行)
・鶺鴒の木特別出張所移転します
・鶺鴒の木地区の桜マップ
第70号(平成24年7月1日発行)
・鶺鴒の木特別出張所新庁舎完成
・田園調布消防団消防操法大会
・特集 さわやかサポートたまがわ、どんなところ？
第71号(平成24年10月1日発行)
・佐藤大助連合会長、警察協力章受章挨拶、第24回鶺鴒の木まつり花苗の配布について
・千鳥小学校60年を迎えて
第72号(平成25年1月1日発行)
・年頭のご挨拶：7町会長年頭挨拶掲載
・特集 高齢者社会を迎えて
・オアシス運動について
この一年間編集員、地域の町会、学校、住民の皆様と共に協力して、地域の情報を、お伝えして参りました。

今年もよりよい地域の情報をお伝え出来ればと編集委員一同頑張っております。

編集長 渡辺 靖彦

大田区立東調布第三小学校

校長 菅谷 美津江

鶯の木地区の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただき感謝しております。ありがとうございます。

東調布第三小学校は、平成二十五年度、開校八十五周年、わかたけ学級(弱視)開級四十周年、たんぼぼ学級(情緒)開級五周年、と節目の年を迎えます。

子どもは、自分の可能性を求め「個性」を発揮するとともに、集団の中で他者との関わりを通して「社会性」を学びます。この両輪がバランスよく調和してこそ、これからの時代を逞しく生きていく力となると思っています。学校では、地域の皆様のご支援ご協力をいただきながら、「自分を見つめ」「他者を見つめ」学校生活を送れるよう指導して参りたいと思っております。

大田区立千鳥小学校

校長 小宮 恭子

千鳥小学校は、平成二十四年度、開校六十周年を迎えました。記念行事として「運動会」、「金環日食鑑賞会」、「音楽会」、「展覧会」を開催。十月の「式典」では全児童四百六十四人が出席し、地域の皆様の千鳥小学校に対する深い愛情を実感し、六十年の歴史をしっかりと受け継ごうという心が育ちました。地域の「希望」となって一人一人が自らの人生を堂々と歩むことができますよう、日々の教育活動の充実に向けて、地域や保護者の皆様からの御支援と御協力を賜りながら、教職員一同、これからも一丸となって全力で努めてまいります。

一年間、本当にお世話になりました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

現在、鶯の木地区で活動している団体は左記の7公園です。
鶯の木山公園(まつやまグループ)、しんせい児童公園(桜梅桃李グループ)、あおぞら児童公園(多摩さくら会)、鶯の木三丁目児童公園(クリーンいちよう会)、鶯の木三丁目中央児童公園(鶯の木三なかよしパーク)、ちどりみなみ児童公園(グリーンサークルちどり)、南久が原児童公園(南久が原一丁目町会親睦会)

文 編集委員 渡辺 靖彦

大田区立大森第七中学校

校長 原田 承彦

大森七中にとっては躍進の一年間となりました。

まず、区の学力調査で極めて優良な成績を収めました。模範的な授業態度に表れているように学力の定着には目覚ましいものがありました。

運動会では誰も力を抜かない奮闘振り、学芸発表会でも整然とした合唱コンクールに加え、舞台発表ではダンスや演奏に対する熱烈な応援もあり、地域の皆様にも七中生の熱い姿を見ていただけました。

学校公開週間でも生徒の頑張りや作品のすばらしさのお褒めの言葉をいただき、伝統校としての名に恥じない一年になったと自負しております。

大田区立嶺町小学校

校長 東山 良彦


平成二十四年度の嶺町小の最大な話題は「校舎改築工事」でしょう。近隣の皆様方にご理解ご協力をいただき、順調に新校舎建築が進められています。

プールがないために東一小に行ったり水泳をしたり、校庭が無いために河川敷でスポーツフェスタ(運動会)をしたり。子どもたちはとまどいながらも頑張り、大きな成果をあげました。保護者、地域の皆様の支えがあったからと、感謝しています。

五月には新校舎へ移転します。地域の皆様にも、足を運んでいただく機会を設ける予定です。今後ともよろしく願いいたします。

ふれあいパーク活動

大田区ふれあいパーク活動を
ご存知ですか。
大田区と地域の
住民が公園を
「地域の庭」として、様々なアイディアにより有効活用を図っていくとする活動です。
対象となる公園は、大田区立の公園、児童公園、緑地。
大田区と登録団体が協議して公園の維持管理や催しを行い地域の人の手による公園づくりができ、地域の交流にも寄与する効果が期待されています。
地域の美化活動と身近な絆づくりに役立てては如何でしょうか。
活動グループは5人以上で組織された団体です。お申し込み、申請書等の詳細のお問合せは、調布まちなみ維持課管理係まで。
現在、鶯の木地区で活動している団体は左記の7公園です。



市民消防隊の活動

鶯の木二丁目町会 鳥海 美香
市民消防隊は、地震時の火災に対する初期消火と避難道路周辺の延焼防止、町の防災活動拠点を守ることを目的として組織されています。消防隊は、町会を母体とし、この出張所管内では、五つの町会でポンプ隊(C級)を結成しています。さらに千鳥南町会と鶯の木二丁目町会には、ミニポンプ隊(D級)があり、女性が操作にあたっています。



夜の訓練の様子
いざという時に、的確な行動がとれるように、普段は、月に一度の訓練を実施しています。

興味のある方は、各町会にお問合せ下さい。

震災時には、C・D級ともに、自宅の出入口止につとめたうえ、消防隊や消防団が火災現場に到着するまでの間、地域内の初期消火活動を担います。

民生委員 児童委員の活動

鶯の木地区会長 岩間 勇治
当地区では、民生委員・児童委員として現在19名で活動しています。「民生委員法」と「児童福祉法」により厚生労働大臣から委嘱された非常勤の福祉ボランティアで、地域の皆さんの暮らしを支援しています。子どもにかかわる事案にも関わっており、主に2名の主任児童委員が専門に担当しています。一人暮らし高齢者や障害のある方、生活保護受給者等の自宅を訪ねて、行政から依頼されて調査をしたり、支援制度を紹介したり、様々な心配事を専門機関につなぐ役割を、守秘義務を守りながら、活動しています。近年は、母子家庭の訪問や、児童虐待に対する住民通報の仲介・見守りも多くなっています。

またこの地域では、町会の皆さんと共に、毎月3か所で「高齢者ふれあい元氣塾」が活発に開催されています。3月6日に開かれた「鶯の木地区高齢者ふれあいフェスタ」は、年々参加者が増え9年目になりました。本年は民生委員・児童委員の3年に一度の改選期に当たり、12月1日から再スタート(再任可)いたします。

保護司の活動

大田区保護司会 蓮池 攻
保護司について何を尋ねた事がありますか。保護司は法務大臣が委嘱した更生保護のボランティアをする人の事です。犯罪や非行をした人の立ち直りを助けると共に犯罪予防の活動に取り組む地域の安全安心に貢献する事が主な仕事です。

保護司の仕事は「保護司法」に定められ保護司になるには、地域の人の推薦を受け原則六十五歳以下の人で任期は二年再任可で七十六歳未満等条件があります。住居地を管轄するいずれかの保護観察所に配属され地域の保護司組織に所属し定期的な観察所主管の各種の研修会や保護司会の自主研修会等に参加し日々切磋琢磨し時代に即応した勉強を行っており、全国に約五万人の人が活動をしています。具体的には①保護観察になった人への助言や指導②矯正施設(刑務所・少年院等)に入っている人の出所後の生活環境の調整③地域での犯罪予防等の啓発活動④保護司活動に必要な関係機関との連絡、協議等を行っております。詳しくは「保護司に関するしおり」が出ています。

青少年委員の活動

青少年委員 有蘭 芳章
私達青少年委員は、大田区内で六十一名、鶯の木地区で三名で、教育委員会から委嘱を受けた非常勤職員です。地域の活動を側面から推進、援助しているコーディネーターであり、指導者です。毎月一回の定例会で、地域の情報を持ち寄り、委員同士の情報交換を行ない、地域に反映しています。また、小・中学校との連携を大切にして、学校行事にも積極的に協力しています。青少年委員会の行事としては、大田フェスタへの参加、大田文化の森で行われる「Oh盛祭」の開催です。ぜひ皆様も見に来て下さい。

スポーツ推進委員の活動

スポーツ推進委員 森田 光一
昨年9月に、これまで「体指」として親しんでいた体育指導委員から、スポーツ推進委員と改名されました。区民の皆さんが少しでも多くスポーツと触れ合うよう、ニュースポーツ教室や高齢者を対象とした寿ハイキング等、様々な活動をしてまいります。先の2月16日には50周年の式典を挙行了しました。これからも皆さんが参加しやすいイベントから総合型地域スポーツクラブへ展開したいと思っております。「スポ進」をよろしく願いいたします。